

設計図書等に対する質問及び回答

工事番号 文2

工 事 名 史跡米子城跡三の丸トイレ新築建築主体工事

番号	質問内容	頁	回答(案)
1	図面番号〔S-11〕～〔S-18〕について 伏せ図に明記がある材料と細目別内訳明細と で、使用する材料の数量に差異が見受けられま す。細目明細は参考として、図面に明記がある 数量を参考とすればよろしいでしょうか。	内訳32 ～33 図S-11 ～18	図面を正としてください。内訳書の参考数量と の差異については、受注後に協議事項としま す。
2	〔S-10〕の「使用材料一覧※特記なき材料は県 産材を使用する」について 梁（小屋）に90E、70E、LVL120E450Fと記載があ りますが、伏せ図への図示願います。	図S-10	S-11小屋梁伏図において、90Eの105*180はX 8 ～11通吹抜け化粧梁です。135*210はY 7 通X 2～4間、150*210はY 3 通X 2～4間です。 70EはY 1 通X 12～14間です。 LVL120E450Fは該当ありません。
3	〔X-14通り妻梁〕90E（杉KD）について 90Eの表記をヤングE-90と解釈しますが、杉材で は調達困難です。同等品としてもよろしいで しょうか。	図S-11	同等品でよいです。
4	図面番号〔S-14〕方杖について 方杖2-60×105桧、取付ボルト2-M20とありま すが、105の部材に使用する金物で、M12ではなく 図示の通りM20でしょうか。	図S-14	図示のとおりM20です。
5	図面番号〔S-14〕X13通り小屋ツギについて 小屋ツギに使用する60×120の部材は一本物で しょうか。小屋筋違いとの取り合いを図示願 います。	図S-14	小屋束の位置で継いでください。小屋ツギと小 屋筋違いは小屋束を挟んでください。
6	図面番号〔A-14（矩計）〕について X 2通りに面戸t45×h90杉（外木残材使用）と ありますが、使用外木は全て60×60と解釈しま す。ご指示ください。	図A-14	記載の誤りです。60×60が正しいです。